

『研究にまつわるお金の話』に関するアンケート ご協力をお願い

【キャリアパス委員会主催ランチョンセミナー2018 事前アンケート】

第41回（2018年）日本分子生物学会年会では、キャリアパス企画として「研究にまつわるお金の話」をランチョンセミナーで取り上げます。「大学院生の経済サポート」や「研究費について考える」をメインテーマに、大学院生の経済事情や研究者の収入について現状を捉え、どうしたら研究に専念できる環境を整えることができるかについて考えたいと思います。年々運営費交付金が減っているラボの窮状や、PIがラボ運営・生命科学系学生の教育のためにやりくりする切実な金銭的事情などについて語り合い、現在のDC1・DC2・PD・卓越研究員の動向、今年度より導入された科研費審査システム改革2018の審査方式についてもとりあげ、研究に関わるお金がどのように調達され、使われていくのか、研究費の分配システムの問題点などについても若手、シニアの皆様と一緒に議論したいと思います。以下のアンケートは、当日のディスカッションの貴重な題材として使用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、是非皆様のご協力をお願い申し上げます。

【アンケート実施期間】2018年8月30日（木）～9月12日（水）17:00

日本分子生物学会キャリアパス委員会

1. 性別 ※必須

☐男性 ☐女性 ☐回答しない

2. 職階 ※必須

☐学部学生 ☐大学院生（修士） ☐大学院生（博士） ☐ポスドク
☐大学教員（助教・講師・准教授） ☐大学教員（教授）
☐研究員 ☐主任研究員・チームリーダー・室長以上 ☐企業 ☐その他（自由記述）

3. 年齢 ※必須

☐24歳以下 ☐25～29歳 ☐30～34歳 ☐35～39歳 ☐40～49歳 ☐50～59歳 ☐60歳以上

4. あなたの理想（目標）の職種は何ですか？（択一）

既にその職に就いている場合は、現在の職をお答えください。

☐大学教員（助教・講師・准教授） ☐大学教員（教授） ☐研究員
☐主任研究員・チームリーダー・室長以上 ☐企業の研究員 ☐企業の管理職（経営者、役員）
☐その他（自由記述）

5. 現在のご自分の研究環境（条件）に満足していますか？（択一）

☐非常に満足 ☐ほぼ満足 ☐どちらとも言えない ☐やや不満 ☐かなり不満

6. 5 の理由をお答えください。（複数選択可）

☐職種 ☐職階 ☐雇用形態 ☐給料（経済状態） ☐研究費 ☐仕事内容 ☐場所 ☐研究設備
☐職場人間関係 ☐家族関係 ☐その他（自由記述）

7. 今、研究を続けるにあたってお金の不安を感じていますか？それは何ですか？（択一）

☐感じる ☐感じない

（「感じる」と答えた方）具体的な記述：

8.全体を通して何か伝えたいこと、ランチョンセミナーで取り上げてほしいことがあれば自由に記述してください。（自由記述）

設問が続きます。以下、ご自身のカテゴリーの質問に回答してください。

該当するものを選択して次へ進んでください。

- ☐学生の方（学部学生、大学院修士課程および博士課程に在学中）
- ☐管理職でない方（ポスドク／助教／研究員／技術員／など）
- ☐管理職の方（PI／グループリーダーなど）

学生の方（学部学生、大学院修士課程および博士課程に在学中）

[全員]とある設問以外は、該当する方がお答えください。

9-1. [全員] 通学状況について教えてください。（択一）

- ☐実家から通学 ☐自宅から通学（学生寮） ☐自宅から通学（賃貸アパート等）
☐その他（自由記述）

9-2. [全員] 現在、経済的にどのような状況ですか？（択一）

- ☐問題ない ☐なんとかやっていける ☐かなりきつい

9-3. [全員] 生活できる程度の額（1ヶ月、家賃込みで）はどれくらいですか？（参考：学振 DC1, DC2 の給料は 20 万円）（択一）

- ☐10 万円程度 ☐15 万円程度 ☐20 万円程度 ☐その他（自由記述）

9-4. [全員] 現在奨学金をもらっていますか？（択一）

- ☐給付型奨学金を受給 ☐貸与型奨学金を受給 ☐受給なし

9-5. [全員] 現在アルバイトをしていますか？（択一）

- ☐はい（そのまま 9-6～10 の設問にお答えください） ☐いいえ（9-11 へ）

9-6.[現在アルバイトをしている方] アルバイトの職種は何ですか？（複数選択可）

- TA：ティーチングアシスタント RA：リサーチアシスタント SA：スチューデントアシスタント
☐所属大学および大学院の支援業務（TA、RA、SA、メンターなど） ☐家庭教師 ☐学校の講師
☐塾講師 ☐企業のインターン ☐飲食業 ☐その他（自由記述）

9-7. [現在アルバイトをしている方] 週あたりのアルバイトの勤務日数はどれくらいですか？（択一）

- ☐1 日 ☐2 日 ☐3 日以上

9-8. [現在アルバイトをしている方] 週あたりのアルバイトの勤務時間はどれくらいですか？（択一）

- ☐3 時間未満 ☐3～6 時間未満 ☐6～12 時間未満 ☐12 時間以上

9-9. [現在アルバイトをしている方] 1 ヶ月あたりのアルバイトの収入はどれくらいですか？（択一）

- ☐2 万円未満 ☐2～4 万円未満 ☐4～6 万円未満 ☐6～8 万円未満 ☐8～10 万円未満
☐10 万円以上

9-10. [現在アルバイトをしている方] アルバイトをする理由は何ですか？（複数選択可）

- ☐生活費のサポート ☐学費のサポート ☐研究室の先生に頼まれて ☐知人に頼まれて
☐キャリア・経験のため ☐趣味 ☐その他（自由記述）

9-11. [全員] 大学や国などから返済の必要がない経済的サポート（生活できる程度の額）が得られたら、アルバイトをせずに研究に専念したいと思いますか？（択一）

- ☐思う ☐思わない ☐その他（自由記述）

9-12. [全員] 卒業後はどうされますか？（択一）

- ☐修士課程に進学 ☐博士課程に進学 ☐国内ポスドク ☐海外ポスドク ☐助教 ☐企業研究員
☐企業（研究員以外） ☐公務員 ☐まだ決めていない ☐その他（自由記述）

9-13. [卒業後に企業への就職を決めている方] 決め手になった理由は何ですか？（複数選択可）

- ☐企業などでの研究内容に魅力を感じる ☐経済的安定性 ☐労働環境 ☐福利厚生が良い
☐アカデミアから離れたかった ☐その他（自由記述）

9-14. [大学院博士課程の方] 現在、あなたは返還義務のない経済的サポートを受けていますか？（択一）

大学院博士課程以外の方は、9-17 へお進みください。

- ☐学振 DC を受けている ☐学振 DC 以外を受けている ☐受けていない ☐その他（自由記述）

9-15. [9-14 で「学振 DC 以外を受けている」と回答された方]それは具体的に何ですか？（複数選択可）

- ☐TA ☐RA ☐大学全体の特別な支援制度 ☐研究科／研究所の特別な支援制度
☐その他（自由記述）

9-16. [9-14 で「学振 DC 以外を受けている」と回答された方]その額は 1 ヶ月平均でいくぐらいですか？（択一）

- ☐2 万円未満 ☐2～4 万円未満 ☐4～6 万円未満 ☐6～8 万円未満 ☐8～10 万円未満
☐10～12 万円未満 ☐12～14 万円未満 ☐14～16 万円未満 ☐16～18 万円未満
☐18～20 万円未満 ☐20 万円以上

9-17. [全員] 現在博士課程進学率が減少傾向にありますが、どうしたら進学率が増加すると思いますか？（複数選択可）

- ☐ 経済的サポートを充実させる（授業料も取らない） ☐ 給料を払う ☐ 教育内容を充実する
☐ 博士号取得者の就職を有利にする ☐ 任期なしの若手のアカデミックポジションを増やす
☐ その他（自由記述）

9-18. [全員] 博士号取得者の所得は、修士や学士と比べてどう思いますか？（それぞれ択一）

- ・初任給について：☐ 高いと思う ☐ 変わらない ☐ 低いと思う ☐ よく知らない
・生涯所得について：☐ 高いと思う ☐ 変わらない ☐ 低いと思う ☐ よく知らない

9-19. [全員] 学振 DC の内容についての意見をお聞かせください。（複数選択可）

「その他」を選んだ方は自由にご提案ください。

- ☐ 現状のままでよい ☐ 審査方式に不満がある ☐ 学振 DC の支給額はそのままで採択率をあげる
☐ 学振 DC を廃止し博士課程学生全員均等に少額ずつ支援
☐ 学振 DC の採択率をあげて支給額を下げる
☐ 学振 DC の採択率を下げて支給額をあげる ☐ その他（自由記述）

9-20. [全員] 大学院生の経済的サポートについて欲しい情報は何か？（複数選択可）

- ☐ 給付型奨学金を得るためのノウハウ ☐ 大学・研究所内の経済的支援に関する情報
☐ 文科省の支援プログラムの計画 ☐ 研究環境に恵まれている機関の情報（経済的支援の実績）
☐ その他（自由記述）

9-21. [全員] 指導教員の給与についておよその額を知っていますか？（択一）

- ☐ はい ☐ いいえ

9-22.[9-21 で「はい」と答えた方] その額についてどう思いますか？（択一）

- ☐ 高い ☐ 妥当 ☐ 低い ☐ その他（自由記述）

9-23. [全員] 下記の奨学金等のうち、ランチョンセミナーで概要の説明を聞いてみたいものがあれば選択してください。（複数選択可）

- ☐ 学振 DC1・DC2 ☐ 育英会奨学金 ☐ その他（自由記述）
（アンケート終了・送信）

管理職でない方（ポスドク／助教／研究員／技術員など）

10-1. 現在のご自分の収入に満足していますか？（択一）

☐非常に満足 ☐ほぼ満足 ☐どちらとも言えない ☐やや不満 ☐かなり不満

10-2. 今後のプラン（希望）を教えてください。（択一）

☐現状維持 ☐国内ポスドク（研究員） ☐海外ポスドク ☐助教／講師／准教授 ☐ラボ独立
☐企業研究員 ☐企業（研究員以外） ☐公務員 ☐その他（自由記述）

10-3. 今後のプランを決める際に重要なファクターは何ですか？（複数選択可）

☐研究（仕事）内容 ☐職種 ☐安定した給料 ☐雇用形態（契約年数など）
☐勤務条件（休暇、育休、勤務地など） ☐上司の人柄／職場環境 ☐生活環境（子育て、介護など）
☐その他（自由記述）

10-4. [今後、企業などの非アカデミックで就職を決めている方・既に企業にお勤めの方] その理由は何ですか？（複数選択可）

☐他に興味を惹かれるものが見つかった ☐収入が不安定 ☐研究費の取得が困難
☐適性がないと感じた ☐研究職が見つからない ☐その他（自由記述）

10-5. PI になるために必要なものは何だと思いますか？（複数選択可）

☐研究費 ☐それまでの十分な研究実績 ☐人脈 ☐運 ☐人間性 ☐その他（自由記述）

10-6. 今年度のご自分の研究費の主要な財源はどれですか？（択一）

☐研究室の PI の研究費（運営費交付金含む） ☐自身で獲得した科研費や民間助成金
☐大学・研究所内の研究奨励金 ☐その他（自由記述）

10-7. 日本学術振興会の「PD 特別研究員」の内容についての意見をお聞かせください。（複数選択可）

「その他」を選んだ方は自由にご提案ください。

☐現状のままでよい ☐審査方式に不満がある
☐PD 特別研究員の支給額はそのまま採択率をあげる
☐PD 特別研究員の採択率をあげて支給額を下げる
☐PD 特別研究員の採択率を下げて支給額をあげる
☐その他（自由に提案ください）

10-8. 日本学術振興会の「PD 特別研究員」の応募資格についていずれを希望しますか？（択一）

☐現状通り博士号取得後 5 年以内 ☐博士号取得後 10 年以内 ☐年齢制限撤廃 ☐その他（自由記述）

10-9. 「卓越研究員」の応募資格年齢は何歳までを希望しますか？（択一）

☐現状通り 39 歳まで ☐44 歳まで ☐49 歳まで ☐受け入れ機関が自由に決めればいい
☐年齢制限撤廃 ☐その他（自由記述）

10-10. その他、卓越研究員制度についてご意見があればお聞かせください。（自由記述）

10-11. 下記の制度等のうちランチョンセミナーで改めて概要の説明を聞いてみたいものがあれば選択してください。（複数選択可）

☐学振 PD ☐学振 RPD ☐学振海外特別研究員 ☐卓越研究員 ☐科研費 ☐さきがけ

☐その他（自由記述）

（アンケート終了・送信）

管理職の方（PI／グループリーダーなど）

11-1. 現在のご自分の収入に満足していますか？（択一）

☐非常に満足 ☐ほぼ満足 ☐どちらとも言えない ☐やや不満 ☐かなり不満

11-2. PI になるために必要なものは何でしょうか？（複数選択可）

☐研究費 ☐それまでの十分な研究実績 ☐人脈 ☐運 ☐人間性 ☐その他（自由記述）

11-3. 今年度のご自分の研究室の研究費の主要な財源はどれですか？（択一）

☐運営費交付金 ☐公的機関の研究費（科研費、助成金） ☐大学・研究所内の競争的資金
☐民間（財団・企業）の助成金 ☐寄付金 ☐その他（自由記述）

11-4. 研究室運営について困っていることがあれば教えてください。（複数選択可）また、困っていることについて、それを解決するために何か取り組みや工夫をしていれば教えてください。

☐運営費交付金の減少 ☐科研費の採択率の低さ ☐科研費の配分金額の低さ
☐大学院進学率の減少 ☐学生数に対する教員の少なさ ☐学生数に対する研究費配分の少なさ
☐PI が研究・教育以外の雑務にやりくりする時間の多さ ☐研究室スタッフ（中間管理職）の少なさ
☐研究スペース ☐実験設備 ☐継続して研究費を獲得する難しさ ☐その他（自由記述）

困っていることを解決するための取り組みや工夫の記述：

11-5. 現在博士課程進学率が減少傾向にありますが、どうしたら進学率が増加すると思いますか？（複数選択可）

☐経済的サポートを充実させる（授業料も取らない） ☐給料を払う ☐教育内容を充実する
☐博士号取得者の就職を有利にする ☐任期なしの若手のアカデミックポジションを増やす
☐その他（自由記述）

11-6. 運営費交付金の配分方式について（択一）

☐学生定員に応じた配分が望ましい
☐大学・大学院の研究教育水準に基づき、外部評価による配分が望ましい
☐外部資金の獲得状況に応じた配分が望ましい ☐その他（自由記述）

11-7. 現在の研究費制度（科研費）について不満があれば教えてください。（複数選択可）

☐競争的資金の配分額 ☐競争的資金の集中 ☐審査の公正性・透明性 ☐間接経費の配分率
☐研究分野の多様性の欠如 ☐審査員として割かれる時間 ☐その他（自由記述）

11-8. 現在の研究費制度（トップダウン型研究費）について不満があれば教えてください。（複数選択可）

- ☐競争的資金の配分額 ☐競争的資金の集中 ☐審査の公正性・透明性 ☐間接経費の配分率
☐研究分野の多様性の欠如 ☐審査員として割かれる時間 ☐その他（自由記述）

11-9. 今年度より導入された科研費審査システム改革 2018 について知っていますか？（択一）

- ☐はい ☐いいえ

11-10. [11-9 で「はい」の方] 新しい科研費審査システム 2018 についてご意見があればお聞かせください。（複数選択可）

- ☐以前の科研費審査システムの方がよい ☐分科細目の廃止により審査員の専門性が問われる
☐総合審査方式により幅広い視点からの審査が期待される
☐審査コメントのフィードバックによる研究計画の改善が期待できる
☐2 段階書面審査方式による審査の効率化が期待される
☐その他（自由記述）

11-11. 行政の研究費制度等に関するパブリックコメントに回答したことはありますか？（択一）

- ☐はい ☐いいえ

11-12. [11-11 で「いいえ」の方] その理由は？

- ☐存在を知らなかった ☐特に意見がないから ☐書いても無駄だと思ったから
☐フィードバックがないから ☐その他（自由記述）

11-13. 研究者の定年制度についてご意見をお聞かせください。（択一）

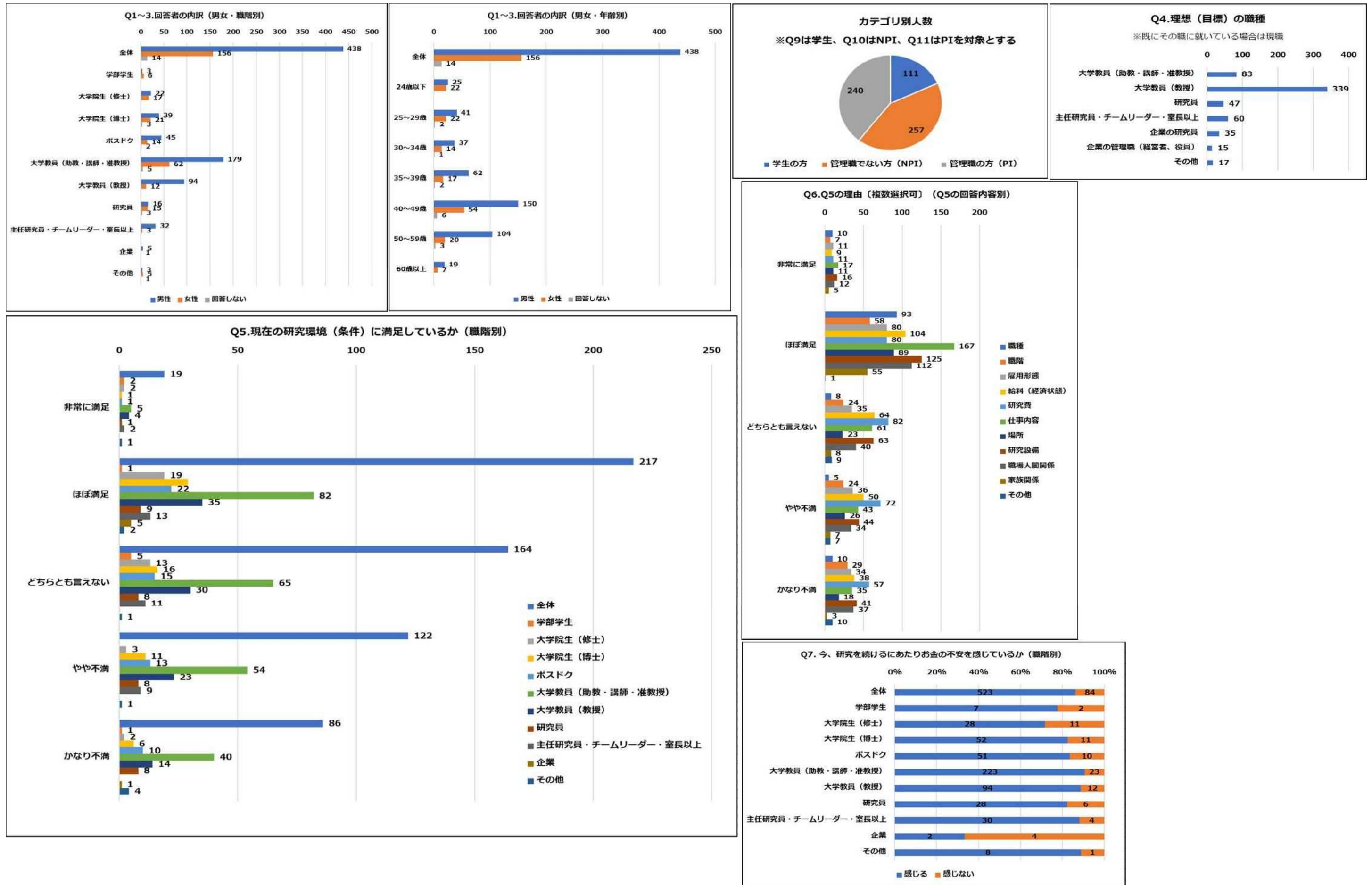
- ☐現状のままでよい ☐延長すべき ☐給与を減らして延長すべき ☐審査により延長を認めるべき
☐その他（自由記述）

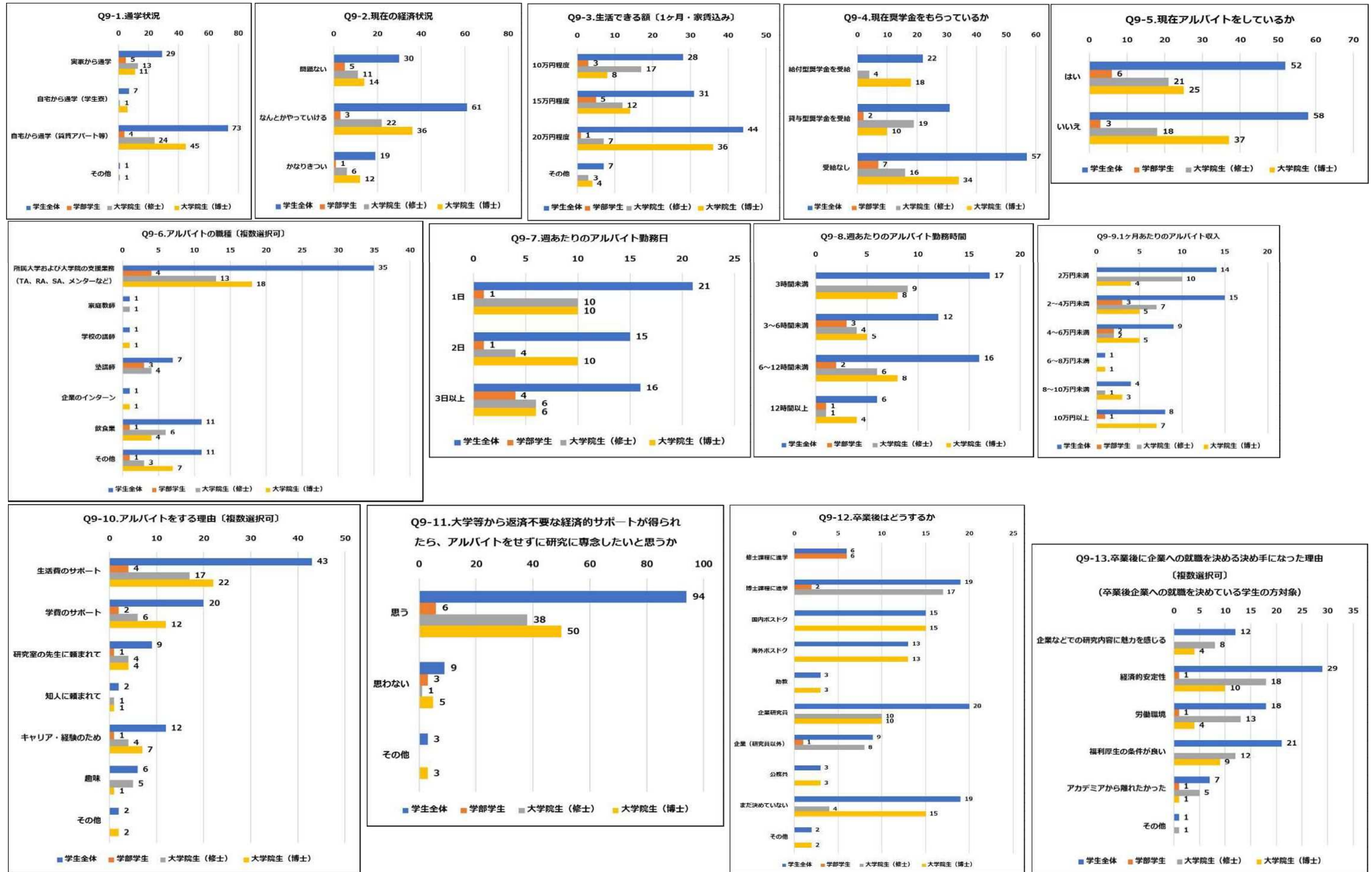
11-14. 下記の制度・組織等のうちランチョンセミナーで改めて概要の説明を聞いてみたいものがあれば選択してください。（複数選択可）

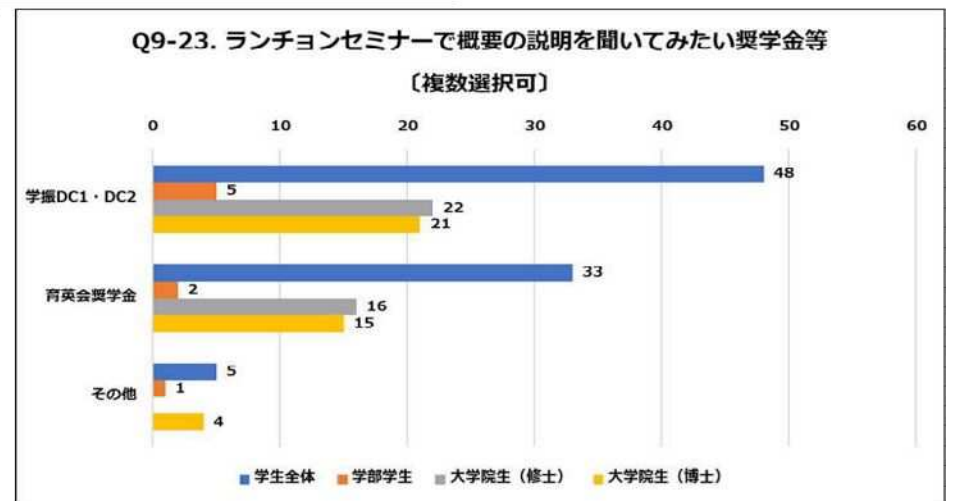
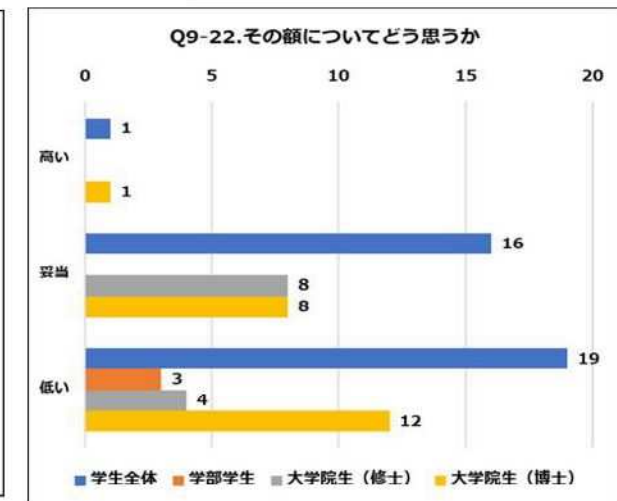
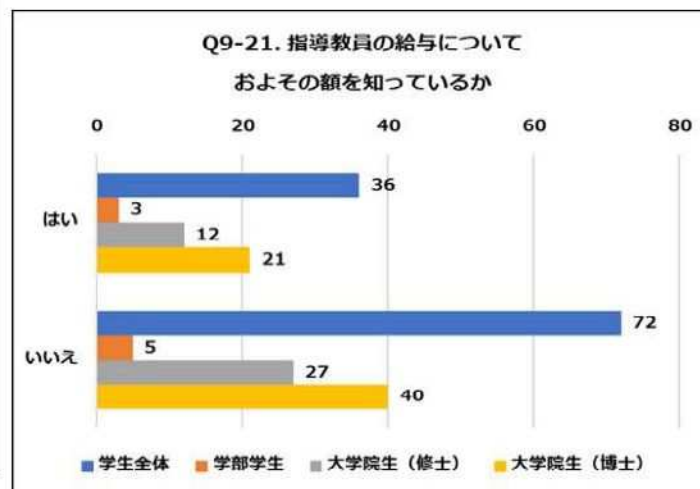
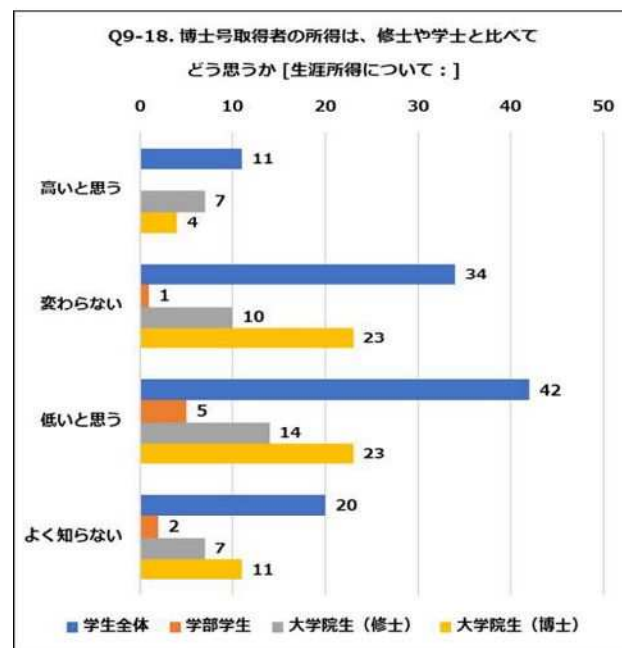
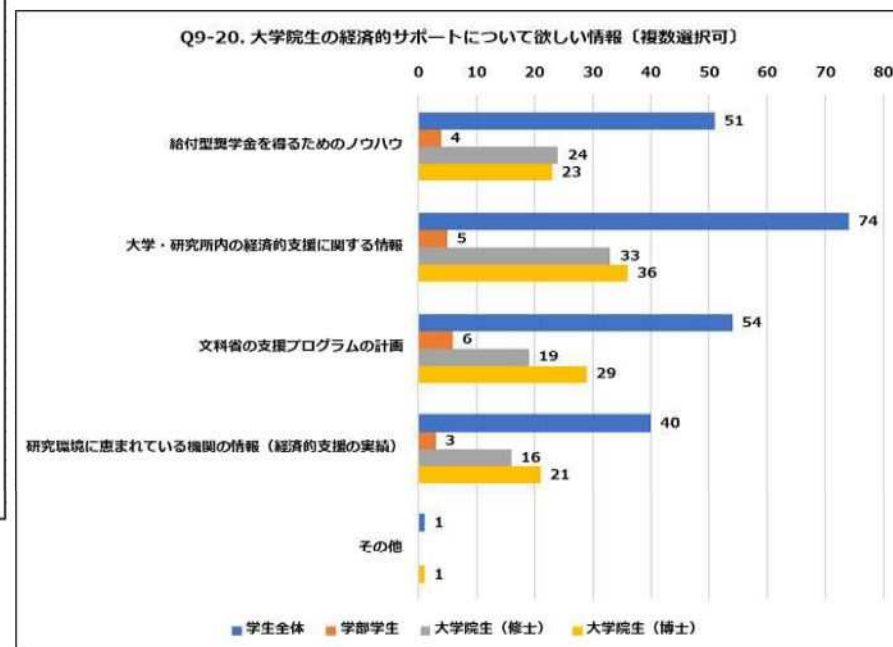
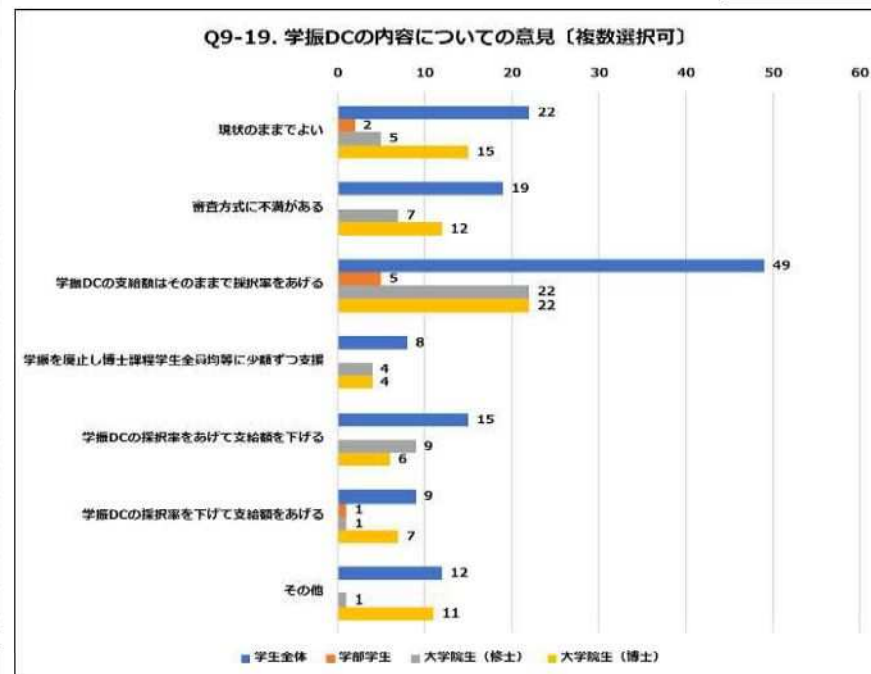
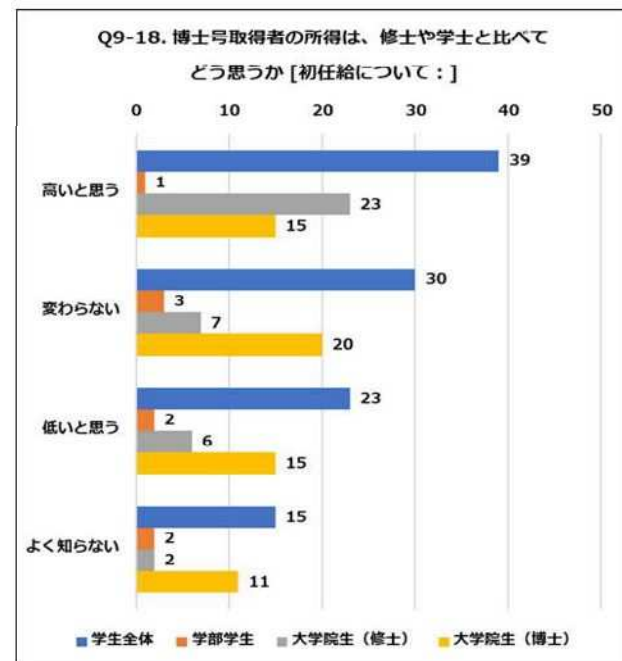
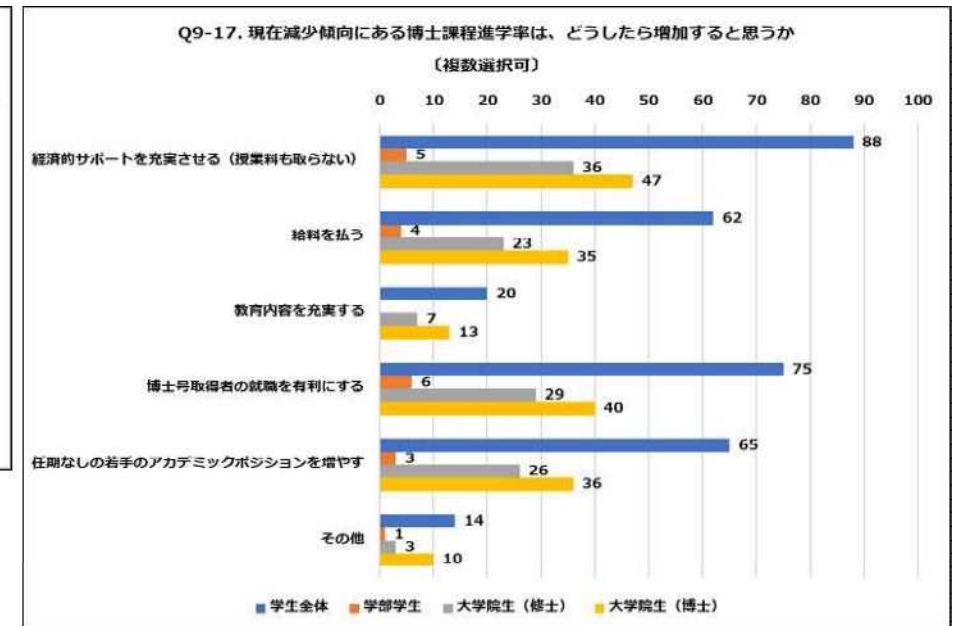
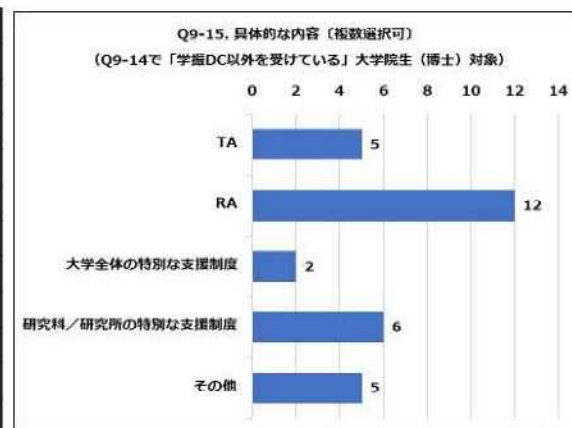
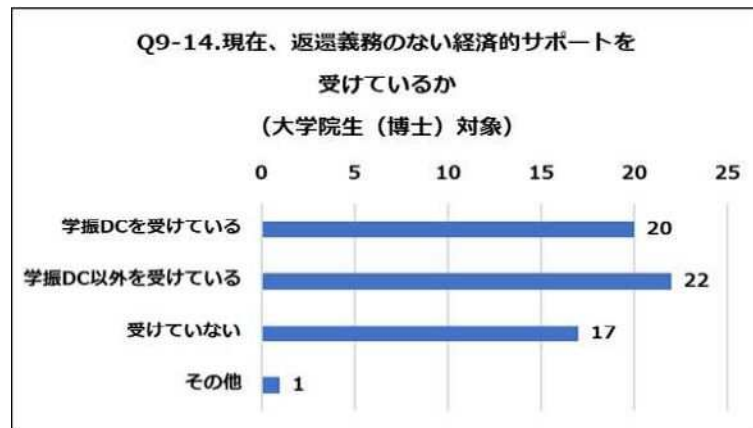
- ☐科研費 ☐CREST ☐さががけ ☐AMED ☐ERATO ☐その他（自由記述）

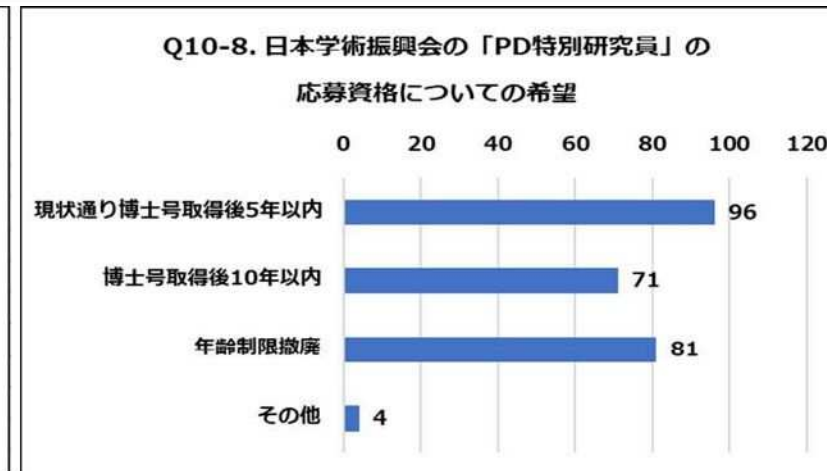
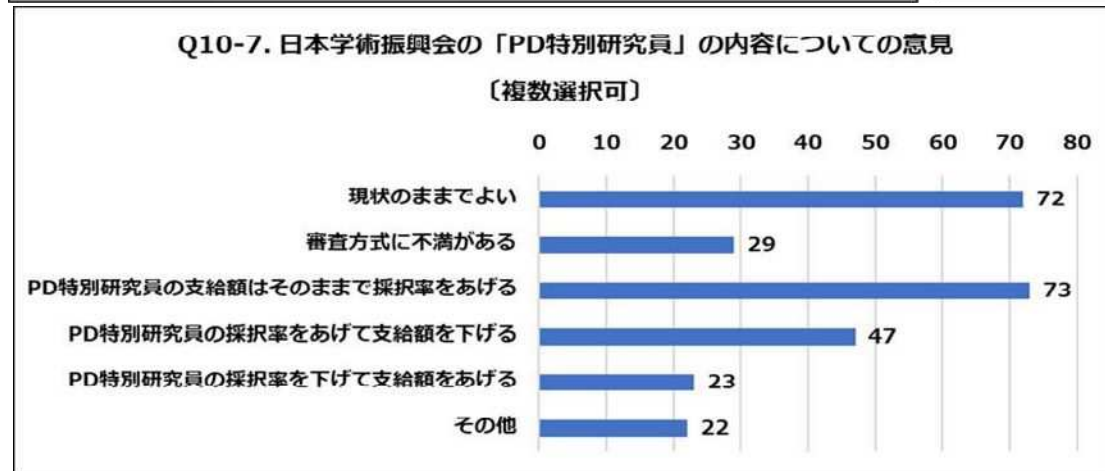
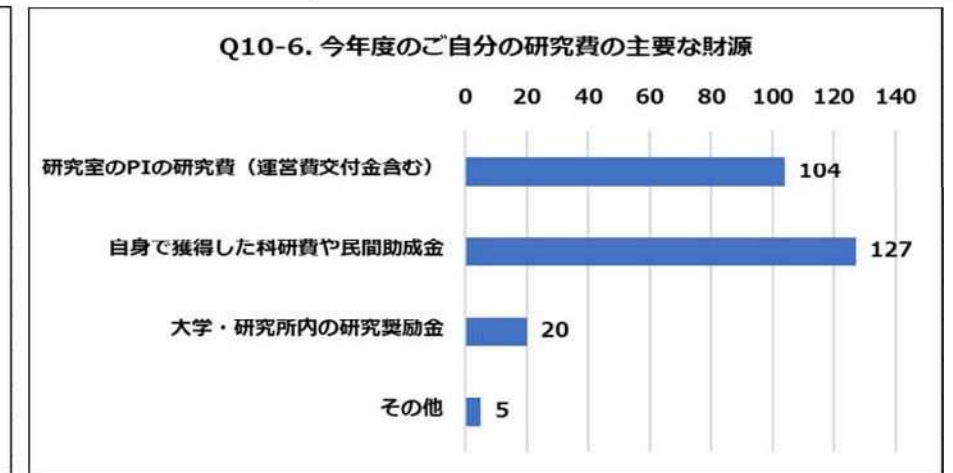
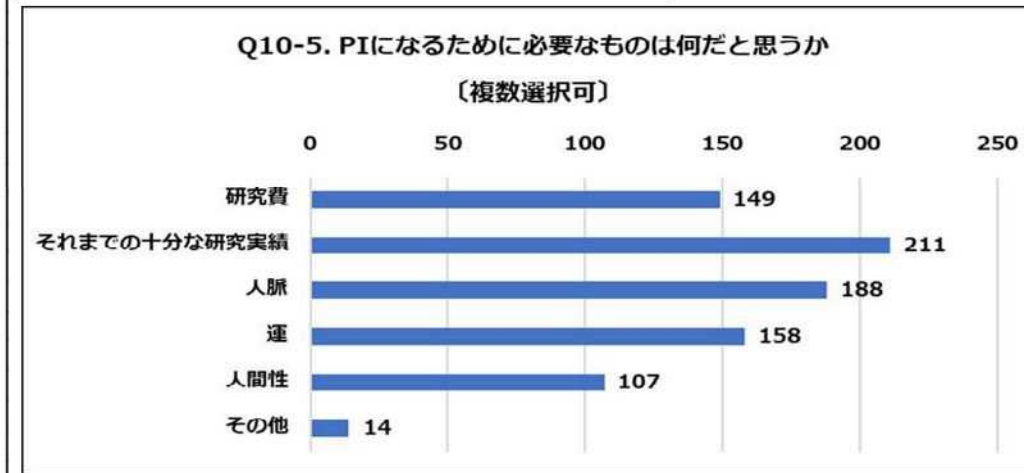
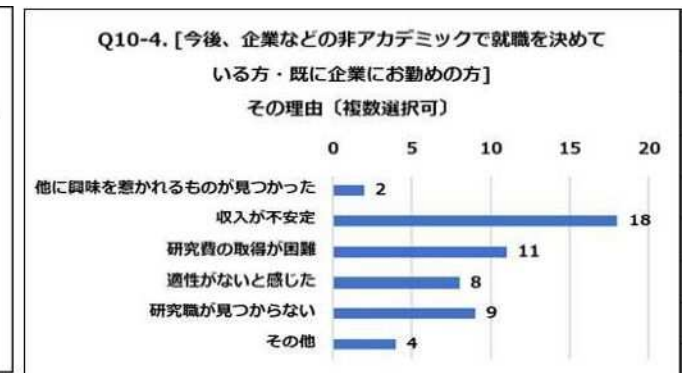
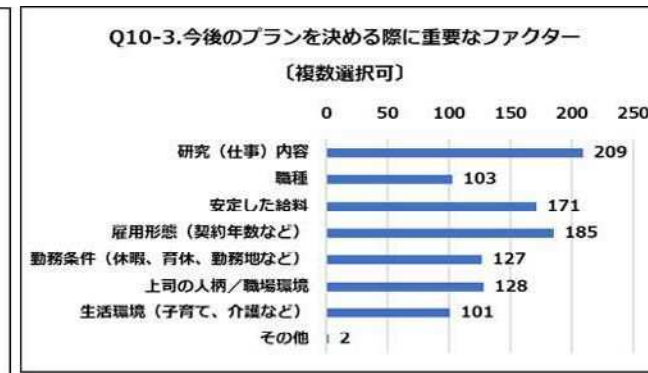
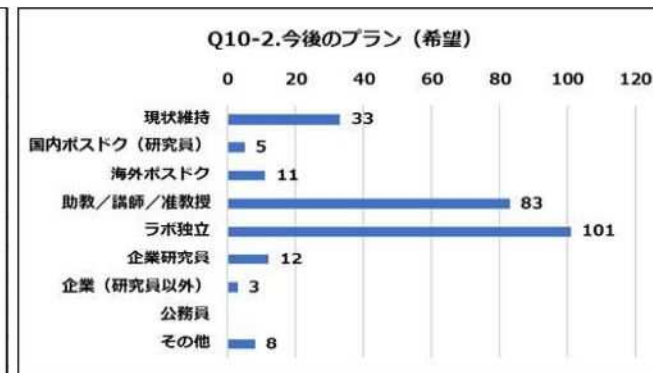
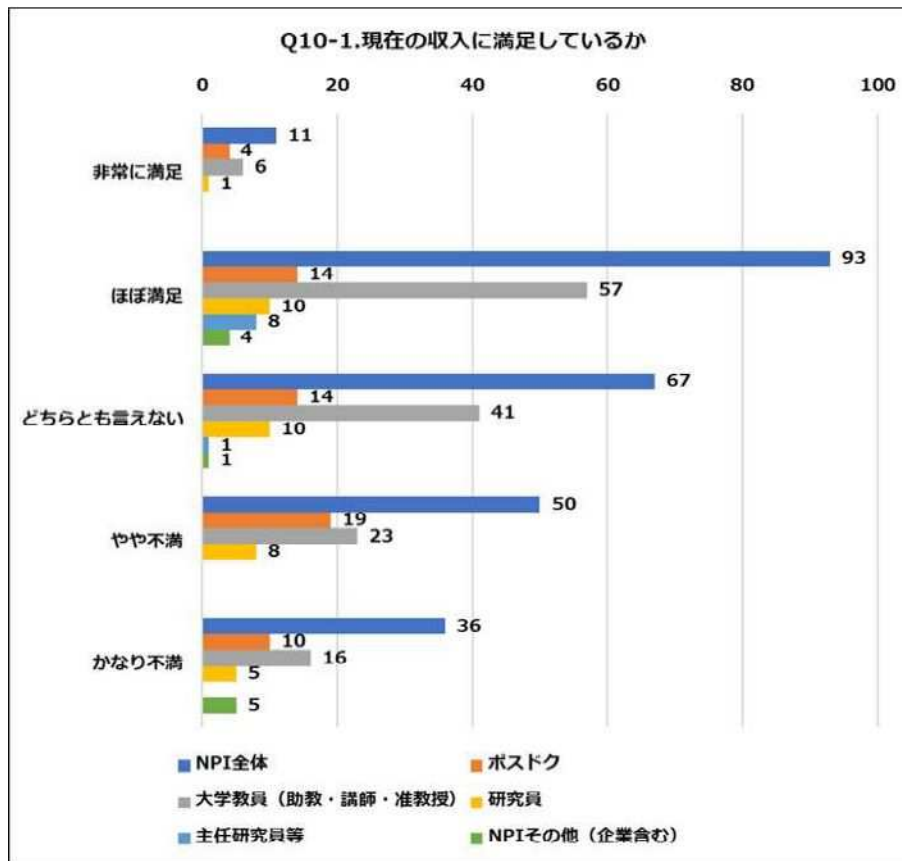
（アンケート終了・送信）

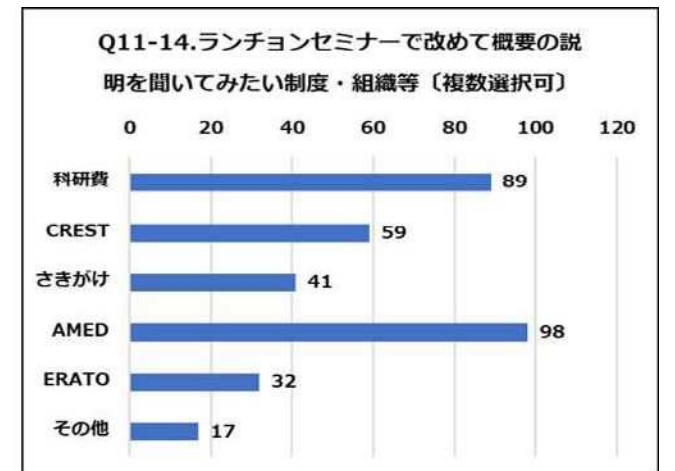
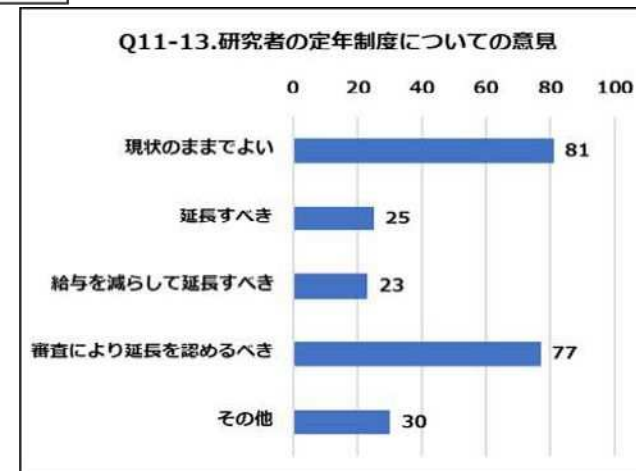
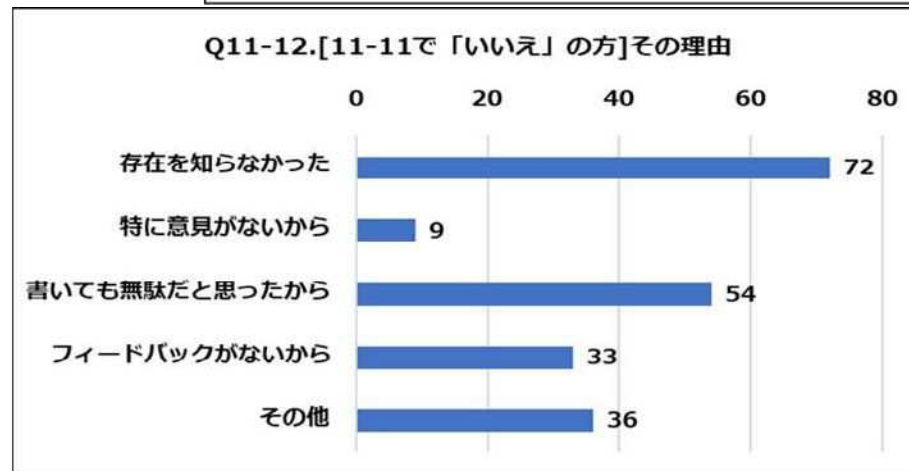
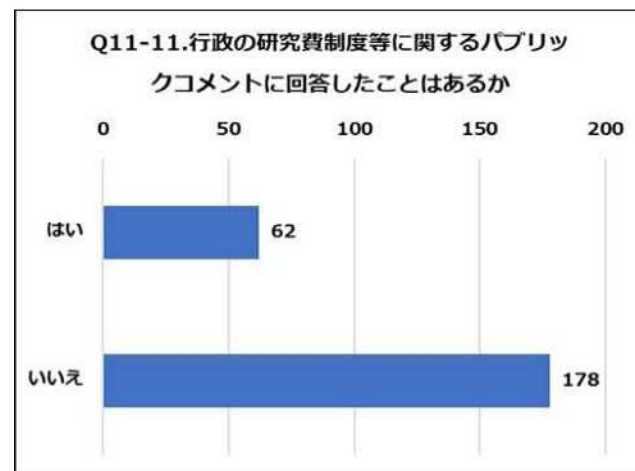
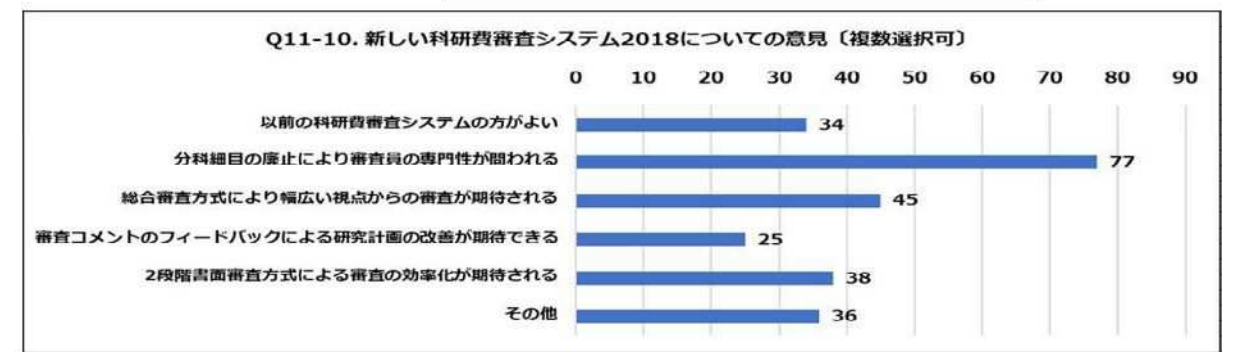
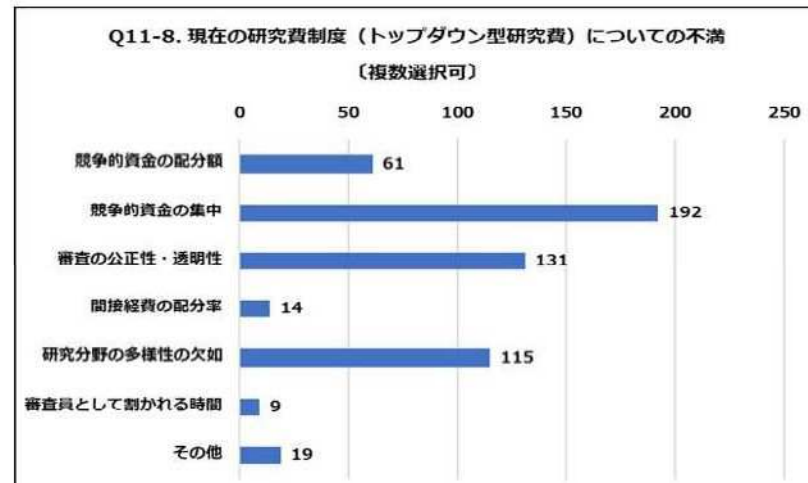
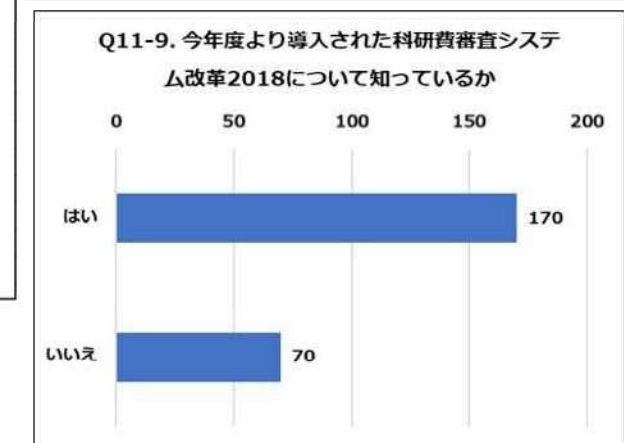
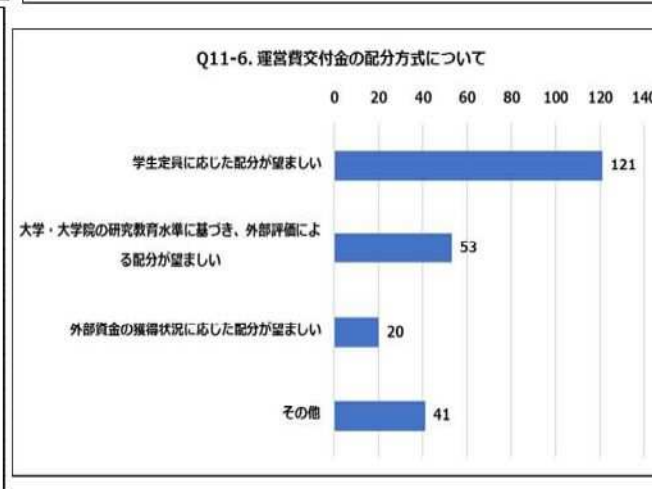
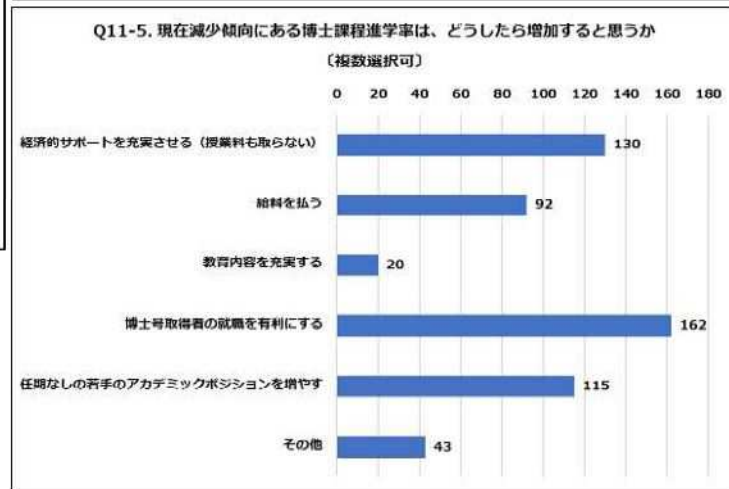
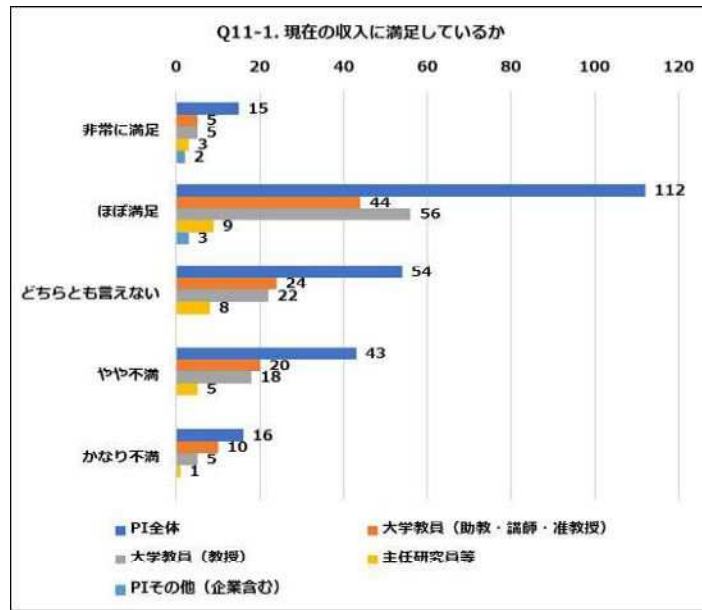
日本分子生物学会『研究にまつわるお金の話』に関するアンケート
【アンケート実施期間】2018年8月30日～9月12日 【回答者数】608名 (Q9:学生の方111名対象、Q10:管理職でない方(NPI)257名対象、Q11:管理職の方(PI)240名対象)



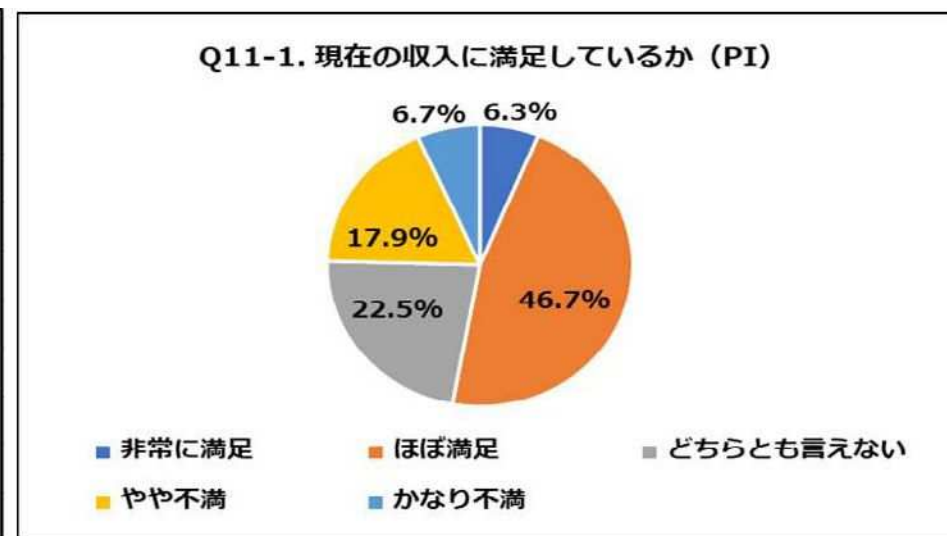
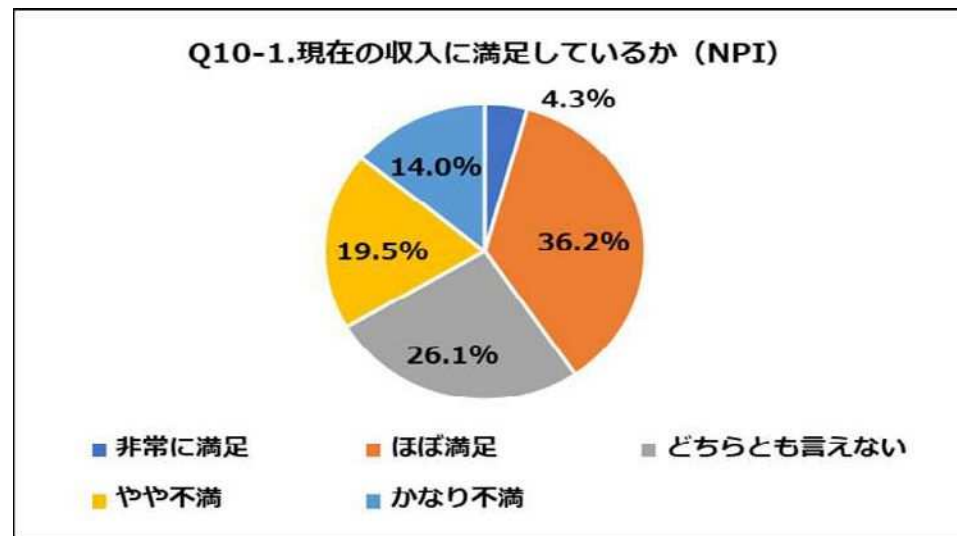




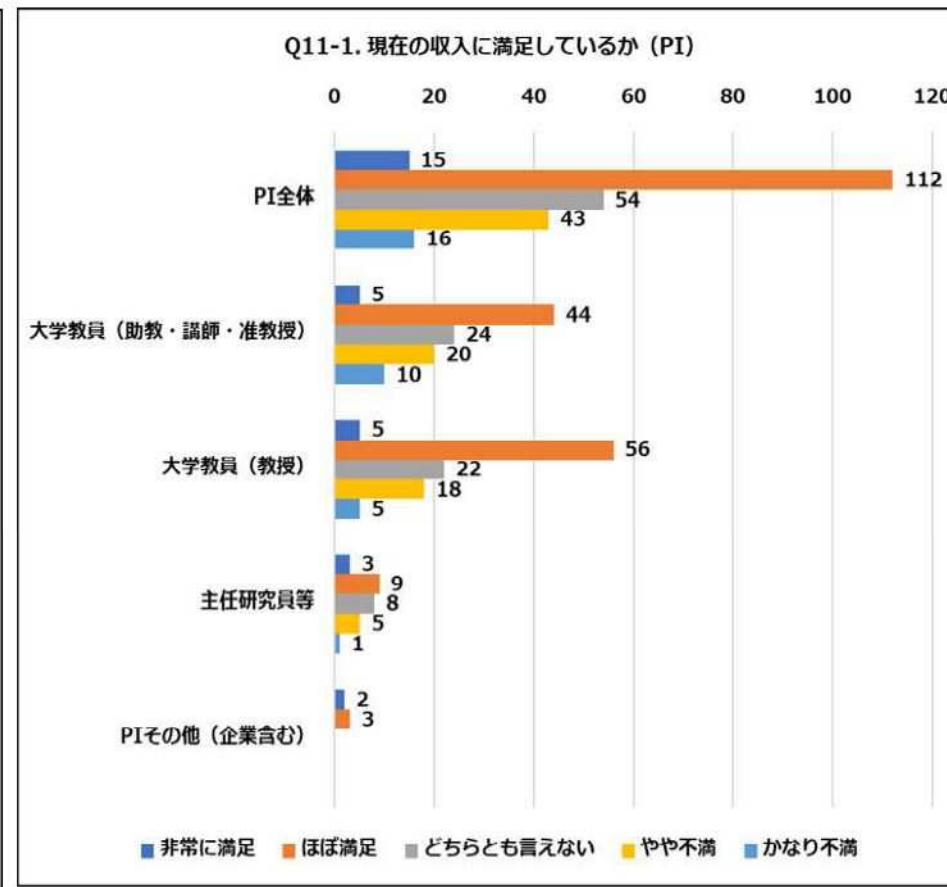
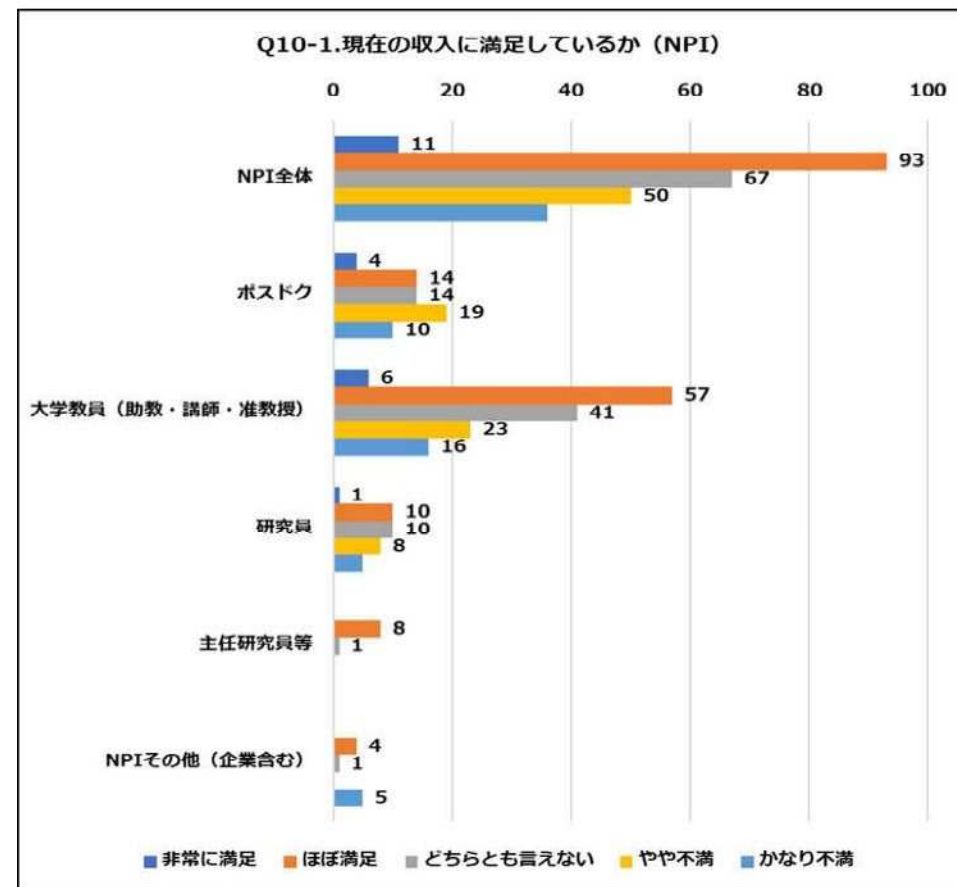
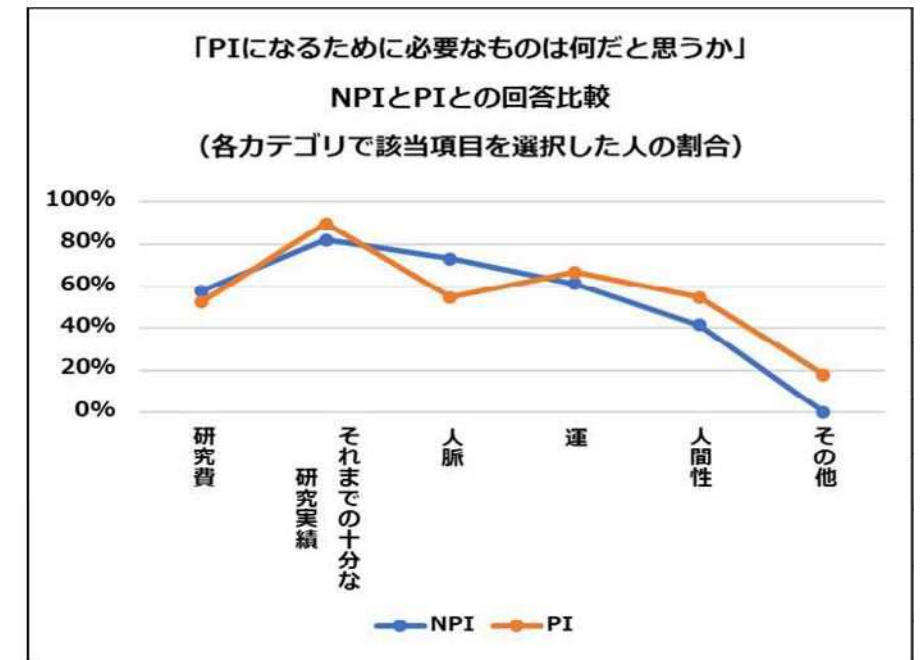




Q10-1とQ11-1:「現在のご自分の収入に満足していますか？」NPIとPIとの比較



Q10-5とQ11-2:「PIになるために必要なものは何だと思いますか？」
 NPIとPIとの比較
 ※複数選択可のため、NPI・PIカテゴリそれぞれの回答者総数のうち
 該当項目を選択した人の割合を算出して比較



Q9-17とQ11-5:「現在博士課程進学率が減少傾向にあります、
 どうしたら進学率が増加すると思いますか？」学生とPIとの比較
 ※複数選択可のため、学生・PIカテゴリそれぞれの回答者総数のうち
 該当項目を選択した人の割合を算出して比較

